



海水浴客でにぎわう岩井海岸



初夏の味覚 びわ



みかん狩り



伏姫と八房



縁結びの杉

とみさん  
富山にある樹齢300年以上と推定される大杉。普通よりも葉が丸みを帯びていることから「ボタスギ」と呼ばれていますが、地元では古くから縁結びにご利益があるとして親しまれています。

# 富山

## 子どももの海と南総里見八犬伝のふる里

遠浅の海と房総半島の三山を有する

古くから海水浴が人気の岩井海岸と、房総半島を代表する富山、伊予ヶ岳、御殿山の三つの山を有する富山地区。なかでも、富山は滝沢馬琴の「南総里見八犬伝」の舞台として知られ、「伏姫と八房」にちなんだ場所が多くあります。  
また、暖かい日射しがふりそそぐ山の斜面一帯には、びわやみかんが植えられ、ハイキングとともに「びわ狩り」「みかん狩り」が新しい観光産業の目玉になっています。



伝統ある房州びわの選果式



カーネーション団地



法華崎遊歩道

波静かな富浦湾を望む海岸沿いに造られた遊歩道。雀島と船虫島の間沈む夕日が美しい。

全国に誇れる特産品の一つ  
初夏の代表果物として、富浦のびわは多くの人に親しまれ、全国的にも高い人気を得ています。栽培の歴史も古く約260年前から生産され、品種改良、技術の向上を重ねて今日まできました。大粒でみずみずしく香り高いことから、毎年厳選されたびわが、皇室に献上されています。  
また、温室での花卉栽培も盛んに行われています。海と緑に囲まれた富浦地区には47.5haの「大房岬自然公園」があり、キャンプやハイキングができる自然の体験教室として人気があります。

# 日本有数のびわの産地 富浦



東京湾に突き出た大房岬